

種名 カワラバッタ



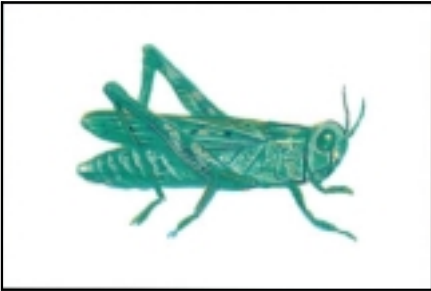
北海道から九州にまで分布しています。草や木がまばらで、石がごろごろした河原にすんでいます。8月頃には、成虫があらわれます。うしろのはねは美しい青色で、黒い帯があります。石混じりの川原にすんでいて、姫川の河川敷にすむ昆虫を代表する、美しいバッタです。クルマバッタモドキにやや似ていますが、うしろのはねが青いので、かんたんに区別できます。

種名 オサムシモドキ



北海道から九州にまで分布しています。河原や海岸の砂地を好んでいるため、すみ場所がかぎられています。その年の成虫は、おもに秋にあらわれ、成虫で冬を越します。姫川の河川敷では、海岸に近い砂地に、わずかながらすんでいます。夜行性で、ベイトトラップで捕まえることができます。

種名 セグロバッタ



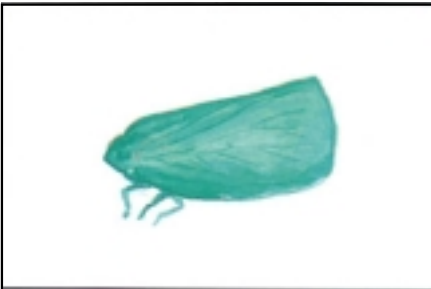
本州、四国、九州に分布しています。成虫は、8月頃にあらわれ、やや湿った草地の雑草の間に見られます。堤防の斜面の草地でも見られますが、乾燥したところでは、見つかりません。最近、姫川では、洪水により草地が減ったため、数は少なくなっています。

種名 ヒョウタンゴミムシ



北海道から九州にまで分布しています。海岸の砂地を好んですんでいるため、すみ場所がかぎられています。海岸近くの砂浜にだけ、見られます。数は少ない種類です。普段は、石や流木の下にひそんでいます。

種名 アオバハゴロモ



平地から低い山地に生えている、広葉樹やつる植物に寄生します。新潟県は、本種の分布の北限で、海岸近くの広葉樹林にすんでいます。海岸近くのヤナギ林で、見られました。数は、あまり多くありません。

種名 カワラゴミムシ



北海道から九州にまで分布しています。河原や湖岸の砂地に、見られます。明かりにもよく集まり、すばやく動きます。河川敷の砂地にかぎって見られますが、数は少ない種類です。普段は、砂の中にもぐっているため、ベイトトラップやライトトラップで捕まえることができます。